

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	自動車管理事務			事業コード	0228
担当課等	所属名	市民部 都南総合支所		担当係名	
	課長名	市民部 都南総合支所	担当者名	谷藤康浩	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	健全な財政運営の実現	コード 1
	基本事業	公有財産の適正管理	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 5目 自動車管理事務(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成4年度～)		
事務事業の概要	都南総合支所所有の公用車運行及びタクシー借上げによる職員の移動					
根拠法令等	公用車運行管理規定					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和60年に旧都南村総務課で車両を購入し、盛岡市との合併以降、公用車の運行と平行して本庁舎との連絡用務等にタクシーを借上げた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
公用車の効率的かつ適正な管理。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
従来からの紫波町、矢巾町等への広域的な運行範囲に加え、玉山村との合併により運行範囲がさらに拡大した。また、他課等にも供用している。H21.10に燃費性能に優れた軽自動車を購入した。昨年度と同様に、安全性の向上や燃料費等の車両維持費に係る経費節減が見込まれる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	・都南総合支所及び農業委員会事務局職員・公用車	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 都南総合支所職員	単位	人
				B. 公用車台数	単位	台
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・公用自動車の運行 ・職員による運転 ・タクシーの借上げ 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・公用自動車の運行 ・職員による運転 ・タクシーの借上げ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 公用車運行日数	単位	日
				B. タクシー借上げ回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・都南総合支所並びに農業委員会事務局業務の効率性を確保する。 ・公用車を整備し安全に運行する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 公用車走行距離 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	Km
				B. 公用車乗車人数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				C. タクシー走行距離 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	Km
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	適正に管理する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	財産台帳整備面積率(財産台帳整備面積/行政財産の土地面積)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	都南総合支所職員	人	24	24	25	25	25	25	26年度 25
対象 指標B	公用車台数	台	1	1	1	1	1	1	26年度 1
対象 指標C									年度
活動 指標A	公用車運行日数	日	178	140	200	204	220	220	26年度 220
活動 指標B	タクシー借上げ回数	回	22	8	8	11	11	11	26年度 11
活動 指標C									年度
成果 指標A	公用車走行距離	Km	6,330	4,169	6,300	6,500	6,500	6,500	26年度 6,500
成果 指標B	公用車乗車人数	人	467	327	450	644	650	650	26年度 650
成果 指標C	タクシー走行距離	Km	213	150	150	112	112	112	26年度 112

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	178	163	112	90	157	100	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	178	163	112	90	157	100	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	178	163	112	90	157	100	*****
	延べ業務時間数	時間	30	30	30	30	30	30	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	120	120	120	120	120	120	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	298	283	232	210	277	220	*****


3. 事務事業の評価(See)

有効性 評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由：適正な管理及び安全性の向上		
	効率性 評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない
理由：平成21年度の軽自動車への公用車更新により燃費が向上し、燃料費や修理代等の車両維持費負担の軽減がさらに図られている。一方で、車の借上げは最小限度に抑えていることから、これ以上の削減は困難である。			
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由：自動車管理事務は、軽微な事務量であることから、これ以上の人件費削減には繋がらない。			

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 車両更新が実現したことにより、車自体の燃費等は改善されたが、運転者に効率的な運行ルートに沿った運転やアイドリングストップなどを徹底する。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 公用車運転者及び同乗者に無駄のない効率的な運行について職員の意識啓発を高めていく必要がある。

5. 課長意見

一次 評価	(1)評価結果	(2)全体総括(振り返り, 反省点)
	① 有効性 : <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり ② 効率性 : <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり	・公用車使用により地域支援、有線テレビ、農業委員会を中心に都南地域のほか紫波・矢巾町など、各課広範にわたる業務を円滑かつ効率的に執行することができた。 ・特に有線テレビは現地調査・難視聴対策等のため使用頻度が高かった。全体的に有効かつ効率的な運行ができた。
今後 の方向 性と 改革 改善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)	
	<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
		
方向付けの理由と改革改善の内容 運行日数の実績は204日となり前年度とほぼ同じ(H21実績200日)。これに対して公用車走行距離・乗車人数実績は大幅に伸びた。これは効率的運用に努めた結果であり、今後とも公用車の適正管理、効率的運行に努める。		